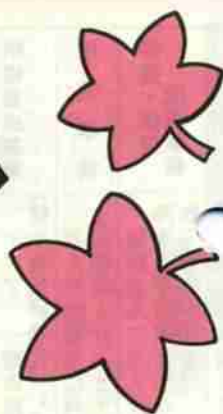
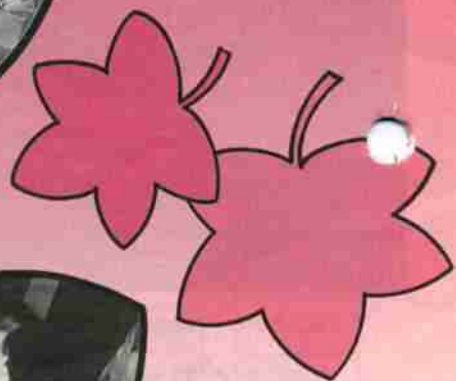
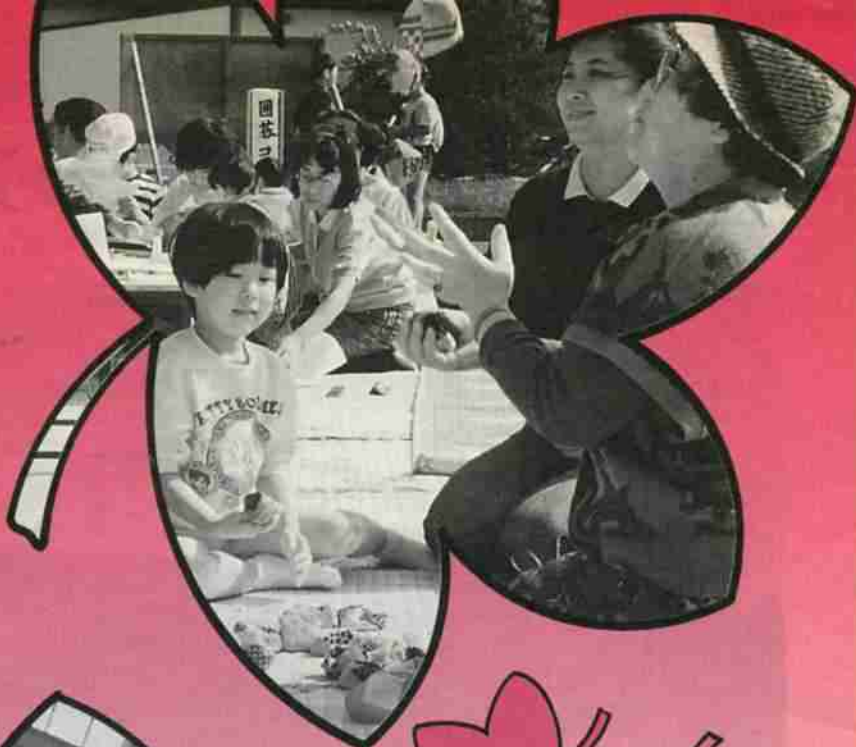


NOBORIBETSU



のぼりベツ

広報

'93
11.1
No.517

総合福祉センター

愛称

しんた21



来年1月6日オープン



総合福祉センター
ではこういうことを
行います。



事業名	事業概要	利用対象者	事業開始
健康増進事業	健康づくりや体力の維持増進を図るための、体力測定やトレーニングを行います。	中学生以上の市民	H6年4月から(H6年1月から施設見学と体験使用を行います)
在宅老人 デイサービス 事業	在宅で体の弱いお年寄りを1日単位で預かり、生活指導や介助を行います。	概ね65歳以上の寝たきりの方や、体の弱い老人	H6年2月から
障害者 デイサービス 事業	在宅の障害者を1日単位で預かり、生活指導や介助のほか、陶芸など趣味の活動を行います。	在宅の障害者または、その介助を行う方	H6年2月から
研修養成事業	ホームヘルパーや、ボランティア、一般市民の研修や養成研修を行います。	ホームヘルパー・ボランティア	H6年1月から
相談事業	老人や障害者に対する生活相談を行います。	障害者や概ね65歳以上の老人	H6年1月から
栄養・調理 指導事業	独居老人や老人世帯、障害者を対象とした料理教室を行います。	独居老人、老人世帯や障害者	H6年1月から
交流事業	人や障害者と世代間交流等を行います。	老人、障害者、一般市民	H6年1月から

※事業の詳しい内容は12月1日号広報でお知らせします。

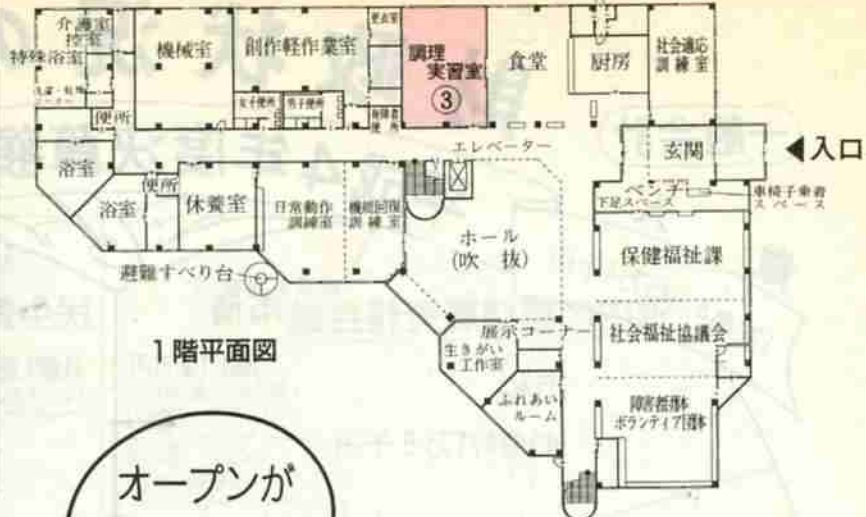
市は、市民の健康づくりや、ふれあいを通して、ノーマライゼーションの理念を育み、これからの福祉・保健活動の中心となる施設として総合福祉センターの建設を進めてきました。今月号から三回のシリーズで総合福祉センターの主な事業内容を紹介します。

平成四年度から着手した総合福祉センターは、片倉町六丁目の川上公園近くに土地購入費を含め総事業費約十三億円を投入し建設しました。先月中旬にはほぼ完成した建物の一階はレンガを積み重ねたようになっており、二階は淡いクリーム色を配しています。今後は寝たきりの方のための特殊浴槽や健康づくりのための体力測定機器とトレーニング機器、また在宅の老人や障害者のデイサービス事業の厨房設備などの備品を搬入し、来年一月六日からオープンします。

当センター内には、登別市社会福祉協議会や各種障害者団体、ボランティア団体などが入るほか、現在、市役所一階の保健福祉課と総合福祉センター準備室、また幌別町七丁目のすずかけ作業所が移転し、十一月二十九日(月)から当センター内で業務を行います。

お年寄りや障害者をはじめ、市民の皆さんが気軽に利用でき、温かくふれあい親しんでもらえる施設とするため、市民の皆さんから愛称を募集しました。百五名の応募の中から千歳町にお住まいの主婦丸山優子さんの作品「シんた21」が選ばれました。

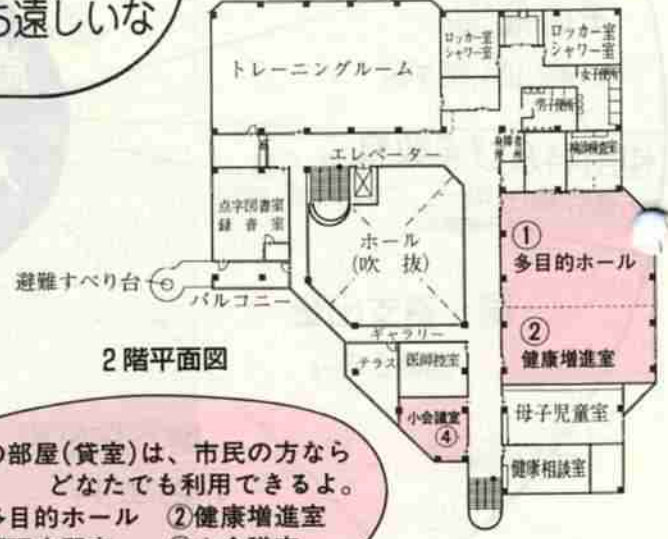
※ノーマライゼーションとはどのような人でも、一般社会の中に普通に参加し、障害の有無にかかわらず、平等に権利と義務を担って生活して行こうという考え方



オープンが待ち遠しいな



老人や障害者のデイサービス事業の利用希望者の登録手続きと貸室の詳しい内容は、十一月十五日号広報でお知らせします。



次の部屋(貸室)は、市民の方ならどなたでも利用できるよ。
 ①多目的ホール ②健康増進室
 ③調理実習室 ④小会議室



保健福祉課のお知らせ

十一月二十九日(月)から総合福祉センター内で行う業務の内容は次のとおりです。



- ◆ 母子手帳の交付(市民課の窓口でも行います)
- ◆ 老人・障害者のショートステイの利用申し込み
- ◆ ホームヘルパーの派遣
- ◆ 妊産婦、乳幼児の保健
- ◆ ガンなどの各種検診
- ◆ 健康相談や保健指導
- ◆ 予防接種
- ◆ 機能訓練
- ◆ 献血
- ◆ などに関すること。



移転先の住所

〒059 登別市片倉町六丁目九番地一
 新電話番号 ☎0501100
 FAX番号 ☎0501111
 (当センターも同じ番号です)
 ※業務は、月曜日から金曜日(祭日を除く)までの午前九時から午後五時三十分まで。土・日・祭日、祭日振替日は休日となります。

愛称の『しんた21』について

シんタは、アイヌ語で「神々が空中を飛行するときの乗り物」と伝えられており、日常語では「ゆりかご」を意味します。21は、明るく広がる未来の二十一世紀を表します。ひらかなのもつ優しさ、柔らかさを生かし、「シんタ21」を「しんた21」とひらかなにしました。

登別市社会福祉協議会からのお知らせ

総合福祉センターの完成により、事務所が十一月二十九日(月)同センター内に移ります。また、現在本会に事務局のある次の団体も同時に移ります。

- 登別市共同募金会
- 登別市民生委員児童委員協議会
- 登別市連合町内会連絡協議会
- 各種ボランティアグループ

※十一月二十七日(土)、二十八日(日)は移転業務のため休みます。

移転後の業務は、月曜日から金曜日(祭日を除く)までの午前九時から午後五時三十分まで。今後は土・日・祭日、祭日振替日は休日となります。

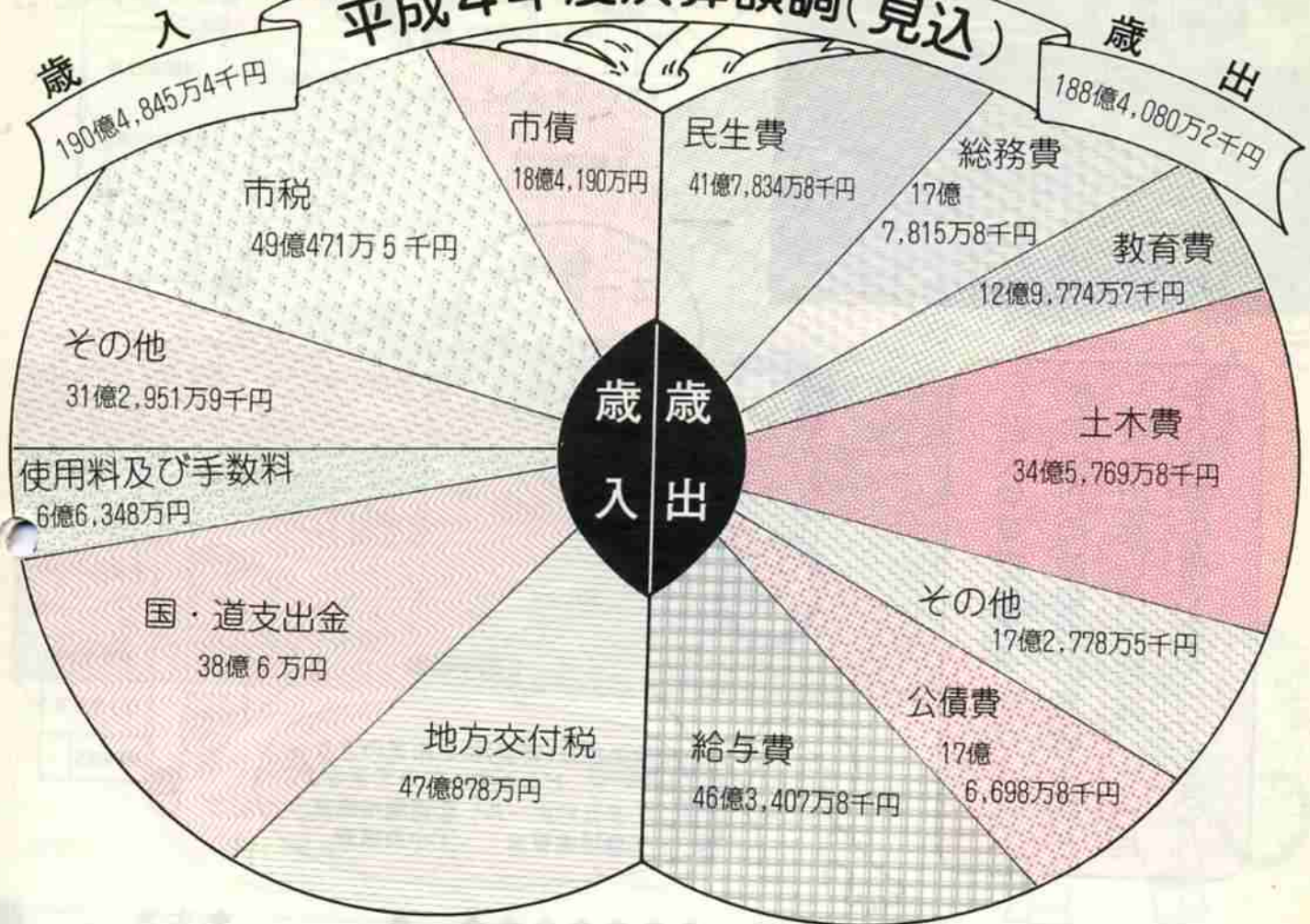
移転先の住所

〒059 登別市片倉町六丁目九番地一
 電話番号 ☎0860(変更なし)
 FAX番号 ☎0860(変更なし)

財政状況の公表

一般会計

平成4年度決算額調(見込)



特別会計

歳入

歳出

33億3,448万9千円	国民健康保険	44億3,499万9千円
3億6,852万円	学校給食事業	3億6,852万円
15億7,935万9千円	公共下水道事業	15億7,838万1千円
42億7,900万6千円	老人保健	42億6,961万6千円
9,042万1千円	富岸土地区画整理事業	9,042万1千円

① 総合福祉センター建設事業

4億9,870万7千円

高齢者や体の不自由な方の保健福祉の増進を目的として、平成4年度から2か年にわたる建設事業に着手しました。完成後は福祉活動の拠点施設となります。



① 幌別小学校校舎改築事業

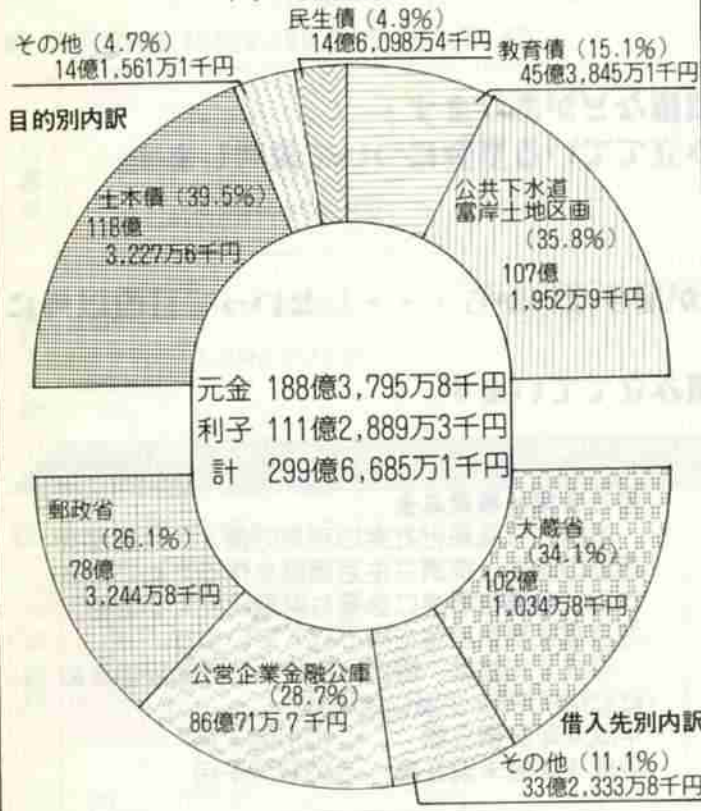
4億4,953万4千円

昭和30年に建設された幌別小学校の校舎は老朽化が著しく、平成4年度から2か年にわたる全面改築工事に着手しました。

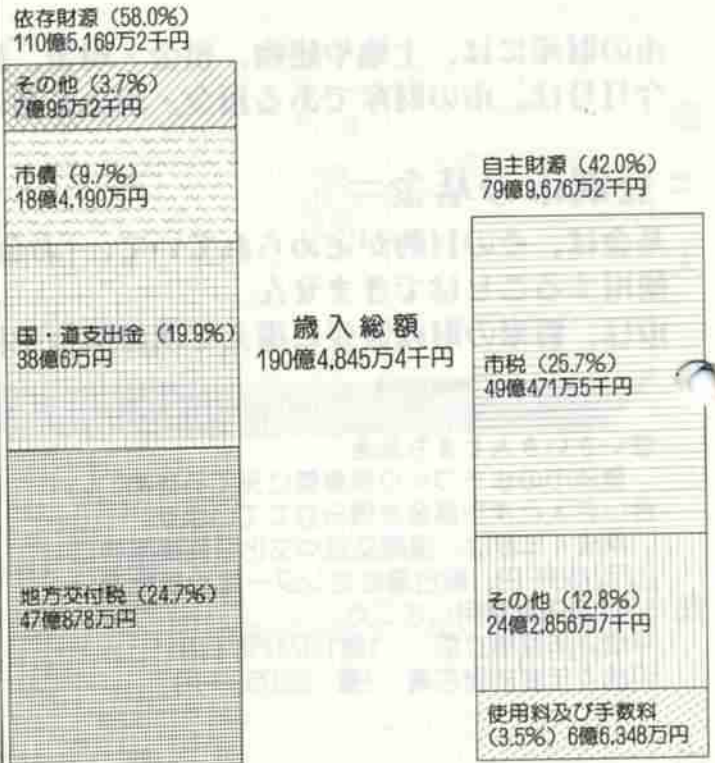
平成4年度の
主な事業紹介

市で借りているお金（市債）

（平成4年度末）



平成4年度 一般会計決算財源の内訳



平成4年度末債務額の状況

（単位：千円）

区分	債務額		
	元金	利子	計
市			
一般会計	13,280,173	5,967,149	19,247,322
公共下水道事業特別会計	5,522,353	5,158,938	10,681,291
富岸土地区画整理事業特別会計	35,432	2,806	38,238
債			
小計	18,837,958	11,128,893	29,966,851
債務負担行為			
一般会計	857,595	185,720	1,043,315
公共下水道事業特別会計	60,784	4,072	64,856
小計	918,379	189,792	1,108,171
（株）登別振興公社	1,360,499	266,580	1,627,079
登別市土地開発公社（長期借入金）	3,384,000	1,754,356	5,138,356
合計	24,500,836	13,339,621	37,840,457

※（株）登別振興公社の利子は、変動利率のため金融情勢によって変わります。
 ※登別市土地開発公社の利子は、平成11年度までの毎年度利子相当額と平成12年度から10か年で計画的に債務解消を行う場合の推計です。

市の財産

市の財産には、土地や建物、預金・現金、債権などがあります。
今月号は、市の財産である預金・現金を積み立てている基金について説明します。

＝登別市の基金＝

基金は、その目的が定められていて、「お金が足りないから・・・」と目外的に使用することはできません。

市は、将来の財政需要に備えて次の基金を積み立てています。

◎いきいき人とまち基金

登別市のまちづくり事業費に充てるため、いきいき人とまち基金を積み立てています。

平成4年度は、国際交流や文化振興事業等に2,772万8千円、総合福祉センター建設事業費に8,750万円を使用しました。

平成4年度積立額 1億1,974万8千円

平成4年度末現在高 3億 353万8千円

◎社会福祉事業基金

本格的な高齢化社会の到来に備え、地域福祉活動の促進と快適な生活環境を作るために推進する社会福祉事業に必要な財源に充てるため、社会福祉事業基金を積み立てています。

平成4年度は、総合福祉センター建設のために2,620万円を使用しました。

平成4年度積立額 929万9千円

平成4年度末現在高 5,921万2千円

◎おもいやり基金

高齢者等の保健福祉の増進を目的に地域の特性に応じた社会福祉活動の推進を図るため、おもいやり基金を積み立て、その運用益を利用しています。

平成4年度積立額

1億2,590万2千円

平成4年度末現在高

1億8,690万2千円

◎観光開発基金

観光開発基金は、市の観光基盤を整備し、観光開発の推進を図る費用に用いるための基金です。

平成4年度積立額

1,479万9千円

平成4年度末現在高

1億1,476万3千円

◎生涯学習振興基金

市民の余暇時間の増加、社会の変化に伴い、急速に高まっている生涯学習への関心に応え、多様化する事業に備えるために積み立てているのが生涯学習振興基金です。

平成4年度積立額

1,348万2千円

平成4年度末現在高

5,428万1千円

◎土地開発基金

公用地、公共用地、事業用代替地をあらかじめ取得し、事業を円滑に進めるために土地開発基金を積み立てています。

平成4年度積立額

2億2,565万2千円

平成4年度末現在高

4億2,177万1千円

その他418.18平方メートルの土地を所有しています。

その他次の基金があり、平成4年度末の現在高は

◎減債基金 11億2,948万2千円

◎財政調整基金 6億 563万2千円

◎墓地管理基金 2,275万1千円

◎職員退職手当積立金

6億8,932万6千円

となっています。

市有財産の内訳（平成4年度末現在）

土地 5,316,807.85㎡

建物 235,201.13㎡

預金 6,135万2千円

（備荒資金組合）

債権 6億7,275万8千円

その他 1億7,296万6千円

平成5年度 予算執行状況 (平成5年9月30日現在)

一般会計 予算総額 200億9,342万6千円

◎ 収入済額 79億2,800万4千円 (39.5%)

予算額	市 税		地方交付税		国・道支出金		市 債		その他	
		51億3,377万2千円 (25.5%) ()内は全体予算に占める割合		43億円 (21.4%)		44億5,910万8千円 (22.2%)		19億8,210万円 (9.9%)		42億1,844万6千円 (21.0%)
収入済額	26億2,074万1千円 (51.0%) ()内は収入予算に対する収入済額の割合		29億7,580万8千円 (69.2%)		12億2,555万4千円 (27.5%)		0円		11億590万1千円 (26.2%)	

◎ 支出済額 80億8,493万円 (40.2%)

予算額	民生費		土木費		教育費		公債費		給与費		その他	
		48億8,083万1千円 (24.3%) ()内は全体予算に占める割合		35億4,902万8千円 (17.7%)		15億1,238万9千円 (7.5%)		18億676万6千円 (9.0%)		46億5,674万2千円 (23.2%)		24億5,163万円 (12.2%)
支出済額	18億8,066万7千円 (38.5%) ()内は支出予算に対する支出済額の割合		10億6,597万円 (30.0%)		5億1,928万6千円 (34.3%)		8億3,864万6千円 (46.4%)		21億7,357万円 (46.7%)		9億7,642万円 (39.8%)	

特別会計

(単位:千円)

会計区分	予算額	歳 入		歳 出	
		収入済額	予算に対する収入済額の割合(%)	支出済額	予算に対する支出済額の割合(%)
国民健康保険特別会計	4,754,500	929,032	19.5	2,419,663	50.9
学校給食事業特別会計	403,300	96,080	23.8	182,914	45.4
公共下水道事業特別会計	2,075,380	267,328	12.9	739,961	35.7
老人保健特別会計	4,704,608	1,903,134	40.5	1,934,240	41.1
富岸主地区画整理事業特別会計	16,657	627	3.8	7,412	44.5
合 計	11,954,445	3,196,201	26.7	5,284,190	44.2

水道事業会計

区 分	予算現額	執行額	執行率(%)
収益的収支	収入	7億6,800万円	3億9,453万2千円 51.4
	支出	7億3,200万円	2億5,771万2千円 35.2
資本的収支	収入	2億2,200万円	1,010万1千円 4.6
	支出	4億8,100万円	1億7,659万2千円 36.7
合 計	収入	9億9,000万円	4億 463万3千円 40.9
	支出	12億1,300万円	4億3,430万4千円 35.8

一時借入金の状況

会 計 名	借 入 額
一 般 会 計	18億円
公共下水道事業特別会計	6億円

21世紀へ向けて

新しい総合計画の策定作業がスタート

現在の総合計画は平成七年度で終了

現在の総合計画は、昭和六十三年（一九八八年）を初年度とし、平成七年度（一九九五年）で終了します。そのため、市では平成八年度（一九九六年）を初年度とする次期総合計画を策定するため、四月に専任の職員を配置するとともに、全庁的な策定体制を整えてきました。

現在の総合計画



現在の総合計画は、

「豊かな自然資源を活用し、多面的な性格を備えた複合都市」を統一目標とし、

一、緑と清流のある快適なまちをつくる

二、健やかでおもいやりのある明るいまちをつくる

三、豊かな心とたくましい人々の住むまちをつくる

四、個性のある産業を育て活気みなぎるまちをつくる

を、基本目標（課題）としていますが、次期の総合計画では、新しい観点から検討し、策定することになっています。

総合計画の構成

次期の総合計画の構成は、次のようなものを考えています。

●基本構想

将来の登別市は、どんな姿が望ましいか、また、そのためにはどんな将来目標を進めたらよいかを明らかにするもので、まちの将来像と施策の基本方向を明らかにするものです。（総合計画の中でも、最も重要な部分で議会の議決を要することとなっています。）

●基本計画

基本構想で定めたまちの将来目標を実現するために現況と課題を明らかにし、将来実施する具体的な計画を分野別に示します。

●実施計画

基本計画で示された各施策の実施年度、実施方法などを明らかにするもので、各年度の予算編成の指針となるものです。

そのほかに、基本計画に示された施策のうち、地域の住民や団体等が主体となる活動を取りまとめ、主体的な活動を促し、目標の実現をめざすものが「住民行動計画」として考えられます。

総合計画はまちづくりのみちしるべ



市の総合計画は、これからの登別市のまちづくりを方向づけるためのたいせつな計画です。

十年後、二十年後、私たちの登別はどのように変わっているでしょうか。

「このまちに生まれてよかった」、「二生このまちに住んでいたい」、「子供も大人も、若者もお年寄りも、市民だれもが誇りをもてるまちにしたい」との願いを誰もがもっていることでしょう。

二十一世紀を間近にひかえ、社会は高齢化、情報化、国際化などと大きな変化が起きています。登別市もこの変化の例外ではられません。

みんなの英知を集めて、この変化を乗り切り、登別を素晴らしいまちにするためのみちしるべが総合計画です。

総合計画は 市民の皆さんと共有するもの

新しい総合計画は、市民と行政が共有する計画にしたいと考えています。そのために、わかりやすく親しみのもてる計画づくりに努めるほか、策定段階から市民のみなさんに積極的に参画していただきたいと願っております。

アンケートや調査に
ご協力を



市内外を問わず、できるだけ多くの方々から、まちづくりに関する意見、提言をいただきたいと市では、次のようなものを考えています。

(一)各種アンケート（市民意識調査、東京・登別げんきかい会員アンケート、近隣市町村住民アンケート）

(二)地域の各種団体や町内会の現状と問題点、今後の抱負や計画、まちづくりや総合計画策定への意見、提案等を把握するための調査

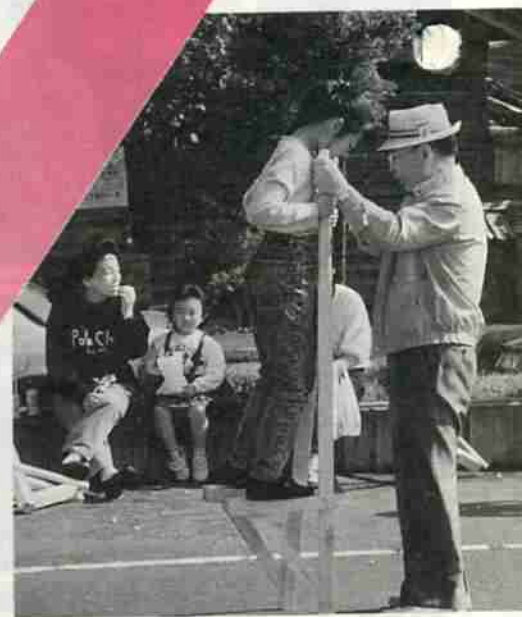


昨年5地区で行われた市政懇談会

(三)まちづくりに関心のある市民が集まった（仮称）市民会議の活動や、条例に基づく審議会での審議
などを通じて、まちづくりに関する意見をいただくこととしていきます。
また、まちづくりのビジョンを確立するため、CI（コミュニティ・アイデンティティ）の手法を用いて今後のまちづくりに役立てることも検討しています。

まちづくりは市民の皆さんの
みずからの手で

まちづくりは、行政だけの力で行うものでなく、また、行うことのできるものでもありません。
総合計画の策定段階から実施段階まで、市民のみなさんの積極的なご協力をお願いいたします。



▽問い合わせ
企画調整室（☎1122）

※用語の説明・CI（コミュニティ・アイデンティティ）とは、私たちの地域の歴史や文化、自然や産業あるいは風土、個性といったものを踏まえ、その点検と再発見を通して「自分らしさ」や「本来あるべき姿」を導き出すことによって、個性あるまちづくりをすすめるようとする運動であると考えられています。

市民レポート

行って見ました。 産業フェア'93 in 登別



マスコットキャラクター
ピヨンくん

リポーター

丸山由紀 (31歳)

〔新川町在住〕



秋晴れの十月二・三日の二日間、若山町の総合体育館で「産業フェア'93 in 登別」が開かれました。
昨年引き続き二回目の開催で、今年の出展企業数は、昨年より二社多い二十四社となつたそうです。
昨年、見学しなかつた私は、興味津々です。
いざ会場へ、レッツゴー！



「我が家にも1台欲しい」とつぶやく丸山リポーター

えっ！ こんな会社が登別にあるの…
まず、体育館に入って感じたのは、札幌の地下街にでも迷い込んでしまったような錯覚に陥つたこと。というのは会場が思いのほか明るかつたんです。
私は、あれもこれも見たいという気持ちを抑えて、ひとまず会場をぐるっと回ることになりました。
驚いたのは、地場企業として出展しているのにもかかわらず、私の知らない会社名が多いことでした。やはり、地元企業を一堂に会し、市民にまず知ってもらおうという意味では意義のある「フェア」なんだと感じました。
会場内で私の目を引いたのは、日本工学院北海道専門学校が出展

「企業として、限りある資源のリサイクルや環境保全に役立つことはできないか、仕事に結び付けて考えられないだろうか。今回は環境を考え、企業として努力しています。その辺りを踏まえて見ていただければいいと思いますよ」ということでした。では、今話題の環境問題を前向きに考えている企業をレポートしてみましよう。



運営委員長を務めた
松永 章さん
のぼりべつ水滴の会
代表幹事

「テーマは何だろう…」
昨年は、地場産品、産業製品などを通して、市民の見聞交流の場になればと開催された様ですが、今回はどんなテーマをもっているのでしょうか。実行委員として、かかわっている松永さんにお話しを伺いました。

している、コーヒーを入れてくれるロボットでした。
ロボットが紙コップにインスタントコーヒーや砂糖を入れ、ポットのお湯を注ぎ、スプーンで交ぜる。その微妙な動作にただ「すっごーい！」を連発。それを取り囲む子供達と一緒に見入ってしまったのでした。

来場者へのインタビュー



ご夫婦で見学していた
鈴木さん(64歳)
若草町在住

去年きて、すばらしかったので今年もまた来ました。一番興味があったのは、石材のところですか。あと、環境とリサイクルコーナーが勉強になりました。



室蘭市水元町に
在住の大学生
斎藤さん(22歳)

何をやっているのかな? と思って入って来たんです。大学で機械科を専攻しているのですが、コーヒーを入れているロボットに興味があります。子供達が機械に触れるチャンスがあったらいいなと思います。



大西さん(34歳)
青葉町在住

初めて見に来ましたけど、地元企業が分かって親しみがわきました。技術は日々躍進していることに感心しました。

「地球市民」となって考えている

なるほど、会場を見回すと、地球に優しいとか、環境を考えるなどの言葉がやたら目に飛び込んで来ます。全社にお話しを聞くのは無理なので、ここは何社かに絞ることにしました。

「サーモポニック」

最初に目に飛び込んだのは「脱フロン」の文字。フロンと言えば、冷蔵庫を想像しますね。フロンガスの使用は、オゾン層の破壊で全面禁止となる日も近いと聞きますが、その代替えとなる電子冷却(加熱)ユニット製造を行っています。冷蔵庫の心臓ともいえるべき、なくてはならない物。そして、その技術たるや世界一と言っても過言ではないそうで、地元でこんなすごいことをやっている企業があるとは鼻高々ですね。



「冷たい。熱つい」
発電と冷却の機能を持つ半導体を実際
一種である熱伝導交換素子をポ
指でさわってみたり

「北海道曹達株式会社」

ソーダ製品は、目に触れることなく原材料として使われていること

とが多いです。でも、新製品として売り出し中の「ノースキトン(肥料)」は、今までゴミとして排出されていたカニ殻や有機質資材を活用して、植物の生育活性、土壌殺菌、防虫などに効果があり、人畜無害(無公害)という優れた物。農業の軽減に役立てば、素晴らしいことですね。



あと、「東亜ソロリフォーム」の酸性雨によるコンクリートの腐食を補修して、建物を長持ちさせる技術や、「ドービー建設」で作っているコンクリートのまくらぎなどです。

限りある資源を生かして企業としての努力している、そして躍進していることを感じました。

産業フェアを見終えて

企業だけの出展と思っていた産



業フェアも、一步会場内に足を踏み入れると、「登別市」も参加。深刻なゴミ問題を取り上げ、環境をテーマとしたパネルを展示したり、下水道を促進するためのピエールを行ったりと、環境問題も官民一体となってできることの可能性を見た一日でした。

物産品のコーナーでは、「海の幸あり、山の幸あり」で、我が町は自然に恵まれたすばらしい土地柄であると実感しました。二日間七千人の人が訪れ大成功だったと、後日新聞で見ました。

できることなら、毎年会場を変えて欲しいなと思います。イベント会場は、どうも幌別地区が多いんじゃないかって、思うのは私ぐらいかしら?

より多くの人に見てもらえる催しとなれば、すばらしいことですね。



初の試み

生涯学習フェスティバル

盛會に終わる

六千人もの市民参加があり、最終日の九日には、幼児から老人まで延べ二千七百余人の市民が訪れ、親子のふれあいの中で、いろいろな体験をすることができました。これからの生涯学習は、長寿社会の中にあつて、社会参加による

生きがいを求めることは、大事なことと思います。これを機会に「行ってみよう、やってみよう」を合言葉に多くの方々の生涯学習への参加を期待しています。

(生涯教育推進室)

市が、生涯学習の推進に取り組んで今年で五年。その節目を記念して十月六日から九日まで市民会館を主会場に「登別市生涯学習フェスティバル」を開きました。

白石・登別姉妹都市提携十周年を記念した白石市歴史資料展や文化講演会。また、次代を担う中学生による子ども議会や子ども緑日。昔の食べ物体験(手焼きせんべいやドーン)コーナーや遊び(竹トンボや水鉄砲づくり)のコーナー。そして、ポニー・綿羊・ウサギのミニ動物園などが大人気でした。これらの行事を行うにあたっては、多くの方の知恵の提供や老人大学生をはじめ、老人大学院自治会、婦人団体連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、商工会議所、漁業協同組合など二百名を越すボランティアの方々の協力をいただきました。

フェスティバル期間中は、延べ



ポニーのチャコモフェスティバルの仲間入り



21世紀の登別を考えた子ども議会



力いっぱい演奏、中学生の吹奏楽発表



老人大学生のなつかしいおせんべい屋さん



鳥名 シジュウカラ

観察時期 年中

(文・写真提供 日本野鳥の会
会員ヨシキリの会)

▷問い合わせ 伴野さん(☎7515)

僕はシジュウカラ。鳴き声のツイージャラララガシジュウカラと聞こえるからこの名前がついたらしいよ。黒い頭と白いほほ。縦縞の黒いネクタイがちよつとイキでしょ。メスはネクタイが細いからすぐ区別がつくよ。スズメと同じ位のサイズだけど、尾が長い分スマートに見えるでしょ。二本足でよく跳びはねるからなのかな? サッカーチームで「四十雀」ってあるのは。僕の奥さんは多産系で、昆虫の多い年には張り切つて卵を十個も産むんだ。だからエサ運びに僕はもうワタワタ。僕らの縄張りに違うオスが入ってきたら、黒いネクタイの太さが目立つように精一杯胸を張り、頭を振つておどかすんだ。この僕の苦労をトリ越し苦勞つて笑わないでね。



友達の輪

前号の大塚次郎さんからのご紹介で、今月号は中央町にお住まいの伊達豊子さんを訪ねました。伊達さんは、消費者協会の会長を務めるほか、点訳赤十字奉仕団



伊達 豊子さん (60歳)
中央町在住

ボランテアの会など多方面で活躍されているという事蹟情報をキャッチし、ボランテアのことなどを中心にお話しを伺いました。

Q 点訳を始められたのは、どうしてですか？

登別市ボランテアの会に入っ
てまして、そこで視力障害者の方々と出会ったんです。そうしましたら、その方達に「点字を勉強してみないかい」と言われましたね。勉強を始めたのは、八年前からです。最初は視力障害者の方に「ああいうえお」から教えていただいたんです。その後、ある方からより正確な点訳を覚えるために日赤の指導を受けることを進められ、日赤奉仕団になったんです。ここでは点字図書を作ることよりもまず、障害者の方がブライベートに使うものや、会議の書類などといったものを最優先して点訳を行っている

るんです。

Q 点訳のコピー機があると伺ったのですが？

ええ、以前は一枚ずつ点字を打ってたんです。ですから時間も手間もかかりました。それが去年、市が点字プリンターを入れてくれたんです。一部作ると後はコピーできるんです。短時間に多くの点訳印字ができるようになりました。

そして、点字図書室には、パソコンが四台あります。奉仕団のメンバーが交替でパソコン点訳に取り組んでいます。現在点訳奉仕団では、常時十七八名が活動しています。委員長の私が何もしなくても団の皆さんがとても熱心にやっています。例会は週に一度ですが、毎日誰かがパソコンの前に座っています。最近点訳を頼まれるものは詩吟なんです。視力障害の方で詩吟の上手な方がたくさん

いらつしやるんです。詩吟は、漢字ばかりですから、いつも辞書と首つびきでやっています。

Q 今の時代で見返りを期待しない、つまりボランテア活動を続けているという事は、とても大変なことだと思いませんか？

たくさんの方と出会えてとても楽しいんですよ。今年は、点訳奉仕団員と視力障害者の皆さんでお花見に出掛けたいです。「見えないのに」と思うでしょ。ところがね、私達の話す花の様子や香りを乗せた風なんかを感じているんですね。

私にできるのならさせていたただいてくれるということですね。回りの人達に助けられながら続けていくというのが本当のところなんです。

▲市民リポーター 大屋二三枝
▼ 次回は、上登別町にお住まいの宇都宮敬博さんです。

と な り ま ち

ほ っ と ラ イ ン

室 蘭 市



天使の音色にうっとり
北海道ハンドベルフェスティバル

例年好評のこの大会も今年で9回目を迎えます。

ハンドベル演奏道内草分けの文化女子短大、付属幼稚園。短大の卒業生が就職先で広げた仲間とともに、遠く静内、函館からも参加して、童謡、クラシック、ポピュラーミュージックなど、美しい天使の音色を奏でてくれます。

あなたも少し、メルヘンの世界に浸ってみませんか。

▷日時 11月6日(土)午後1時から午後4時まで

▷場所 文化女子短期大学体育館

▷入場料 無料

▷問い合わせ 文化女子短期大学
(☎0561)

伊 達 市



きらりと光るいぶし銀
伝統の技「名匠展」

日本の伝統を今に受け継ぐ名匠の技。伊達市では、刀剣製作や藍づくりなど市内に住む名匠の皆さんを「市民生活文化伝承者」として認定しています。現在対象者が16人。「名匠展」でいぶし銀の技に触れてみませんか。

▷日時 11月13日(土)から14日(日)まで

両日とも午前9時から午後6時まで

実演は14日午後2時から午後3時30分まで

▷場所 社会福祉センター(市役所横)

▷内容 伝承技術の実演、使用する道具や作品の展示、伝承者・伝承技術のビデオ上映

▷入場料 無料

▷問い合わせ 伊達市社会教育課
(☎0142-3331)



刈田神社境内にある開拓記念碑

中央町六丁目の刈田神社境内に地上からの高さ三・三メートル、碑石の高さ約二メートル、幅七十五センチ、厚さは二十一センチの仙台石で作った立派な開拓記念碑がある。

建立の由来は、明治二年に幌別郡の支配を命じられた旧白石城主片倉邦憲が家臣・家族と共に移住し開拓に従事したが、その父祖の功績を後世に伝えようと子孫の有志らにより大正十五年（一九二六）片倉家と由緒のある刈田神社境内に建立したものである。

題字は、正五位男爵の片倉家十代建吉、碑文は北海道帝国大学総長で正三位勲一等の佐藤昌介の書いたもので、碑文の一部を紹介すると「幌別の地たるや、壤土は草昧にして巨樹うつ佛とし熊羆は跋扈し豹狼は跳哮す。開拓の業、豈容易ならんや」で「巨木や蔓草がうっ蒼と繁り、昼でも暗い密林の中をひぐま・おおかみが横行し吠えている状況の中での開拓は大変

郷土史点描

登別郷土文化研究会 宮武紳一

42

登別の開拓と

白石との関わり

その3

で生易しいものでない」という入植時の状況・経緯を書いている。

白石を出発してから四十六日を経過、小雪降る幌別に到着した時は年の暮れも迫った十二月二十七日それでも、片倉景範・本澤直養ら十余名を迎えた新領地幌別郡では、幌別場所支配人金兵衛や永住人東海林栄蔵・滝本金蔵・河村丑太郎らの他、役アイヌの人九名を入れ総勢十六名が出迎えた。

翌二十八日は、雪も少し降ったが、幌別会所前通りを検分し、支配地の地形・産物・植物などを聴取。二十九日は好天氣に恵まれ、馬で登別の伏古別まで行き、幌別・白老郡の境界を巡察し「是より西ホロベツ領・是より西片倉小十郎支配所」と、大きな境杭二本に墨痕鮮やかに記し、建立した。

境杭の長さは、ホロベツ領が一丈六尺（四・八メートル）幅一尺六寸（四十八センチ）の大きなもの。片倉小十郎配所杭は一層大きく図示さ

れているが、長・幅は分からない。

それにしても、片倉家は室蘭郡との境界を定めていない。室蘭郡支配者角田領の石川邦光（旧二万一千石）も、有珠郡の境界に杭をたてたが、幌別郡との境界杭をたてていないのも不思議である。

理由としての第一は、江戸期を通じて幌別・室蘭場所を同一人の場所請負人が両場所とも取り仕切ることが多く、境界は厳密でなくともよかった。江戸末期・明治初期の岡田半兵衛・徳田種之丞らも両場所を兼ねている。第二に南部藩のホロベツ・モロラン直轄時代の境界もチリベツであったり、現在の高砂方面に移動したりで土地の状況や経過も明確でない。また、冬の季節を迎え、北海道移住に際し両家臣団の親密な関係もあつたので強引に決定できなかった。

明治三年（一八七〇）未確定の境界を決めるべく開拓使官吏黒沢正吉が派遣され来た。彼はフシ

コチリベツ橋（東室蘭駅西方）に磁石を置き、見通しのきかない霧の中で決めた（添田龍吉辛酸録）と言われ、以後明治三十四年（一九〇一）まで境界紛争が続いたのである（郷土史点描二十四号参照）。さて、幌別郡支配の一年間の計画を家老本澤直養の「幌別郡出張萬記録」でみよう。

- 一、旅人は役人・平人とも旅籠屋に宿泊する。多数の時会所利用。
 - 一、人馬の継ぎ立ては会所で扱う。
 - 一、幌別川・登別川・ランボックの通所を容易にするため千五百両かかる。当分金の見通しもないが漁業利益で勘定する。
 - 一、漁業は莫大な金が必要なので、希望者に漁場を貸し与え、年の出産高に十五割ほど課税する。
 - 一、硫黄（登別温泉）は南部藩支配の折に掘り尽きたので六・七年は生産の見込みがない。
 - 一、海風を防ぐため、海岸通り一帯の伐木を禁じ土手を築く。
- その他、アイヌの人達の東西場所への出稼ぎ、炭焼きや畑作技術の指導などで生産を高め利益を上げることも考えている。
- 幌別郡支配地で一応の業務を終え、本格的移住のため帰路について家老本澤直養ら四人は、新暦一月六日幌別郡出発、白石城下到着二月二十二日。渡道四十六日、帰路四十八日余の困難な旅であった。それに、移住の難問題は山積みし緒に就いたばかりなのである。

「ボケ」の症状

年を取ると、避けざるを得ない「ボケ」と、「病的なボケ」。今月のほけんだよりは、「病的なボケ」の症状について説明します。

「病的なボケ」とは、一度獲得した知的機能（記憶、認識、

ほけんだより

推理、判断、学習など）の低下により、自分や周囲の状況に適切な対応がとれなくなり、自立した生活が困難になっていく状態をいいます。具体的には、次のような例があげられます。

①物忘れ（記憶障害）

聞いたこと、

見たことの事実すら忘れてしまい、食事が終わって片付けがすんだとたんに「ごはん、まだ？」と言うのがこれです。

②場所や時間がわからなくなる

外出すると帰りの道がわからなくなり、とんでもない方へ行ってしまうったり、我が家においても夕方になると「おじやまします。」といいだしたりします。

③おもらし（失禁）

トイレへ行くたびに下着を汚したり、毎朝のように布団が濡れているようになります。さらに進行すると、時や所にかまわず大便、小便をもらし、オムツを使わざるえなくなります。

④まだらボケ

今、起こったことはすぐ忘れても昔のことは驚くほどよく覚えていたり、衰えたところとそうでないところが混じりあっているものです。



ボケの症状をいくつかあげてみました。この他にもいろいろな症状があり、対処の仕方もそれぞれに方法があります。

「もう治らない」と決めつけず早期に専門の医師の診断を受けましょう。また、薬で進行を遅らせたり、家族の接し方や環境の工夫で軽減できることもあります。市では随時相談を受けていますので、ぜひご利用ください。

▽問い合わせ 保健福祉課

(☎6421)

環境にやさしい生活②

前月のこのコーナーでは洗剤の種類や仕組みなどについてまとめました。

今回は、その洗剤を上手に使う洗濯の仕方をご紹介します。洗剤は素材に適したものを選んで使う

消費者コーナー

綿、麻、レーヨンなどの丈夫な布地には粉石けんが適しています。水に溶けにくいので、ふろの残り湯などで洗うのが良いでしょう。湯で洗ったあとは、すすぎを十分にしないと黄ばみの原因になります。ウールや綿、おしゃれ着やラ

ンジェリーなどのデリケートで風合いを大切にしたいものは中性洗剤で手洗いが一番です。

また、合成洗剤はほとんどの素材に使えますが使い過ぎないように心掛けたいものです。

洗剤は適量

合成洗剤の場合、一度使った洗剤液を繰り返し使っても三回は大丈夫。三回目は一回目の三分

のだけ洗剤を足して使います。残り湯を使うと経済的

洗濯の最適温度は、二十〜四十度。ふろの残り湯は、三十度程度です。大いに利用しましょう。洗濯機に直接、残り湯を半分くらいの水位まで入れて一回分の洗剤を溶かし、つけ置きし一晩置いて水を足して洗濯をすれば汚れが落ちやすくなります。

すすぎは、短時間でむだなく注水のすすぎなら時間は五〜六分でじゅうぶんです。ためすぎの場合は、間に一回脱水して三分間。表面に多少泡が浮いていても脱水すれば、きれいに取れます。

セッケンや合成洗剤を用途ごとに使い分け、適量を無駄なく上手に使うことは、消費者の皆さんの負担を軽くするだけではなく、本当の意味での水、環境、地球にやさしい生活と言えるのです。



▽問い合わせ 登別消費者協会

(☎8307)

まちかどぶらり



親水護岸

幌別川白鳥テラス

今月中旬には、冬の使者、オオハクチョウが飛来し、冬の訪れを告げます。室蘭土木現業所が平成三年度に「安心して白鳥達と交流を」と河川敷を整備し「ハクチョウふれあい広場」を新設しました。

表紙のことは

今月号は3枚の写真で表紙を飾りました。
生涯学習フェスティバル「昔の遊びコーナー」でお手玉を楽しむ親子と、市民文化祭に訪れ、文化の秋を堪能して下さる皆さんです。

ひとの動き

- 人口 56,916人
(前月比 - 15)
 - 世帯 20,615世帯
(前月比 + 2)
- 平成5年9月末日現在

発行

登別市役所
総務部総務課広聴広報係
☎0143⑧1130
〒059
北海道登別市中央町6-11

教育委員会委員

教育委員会委員は、地域の教育文化の一層の発展を助長するため設置された教育委員会の委員です。中山節子委員は、前任の岩倉志子委員の任期満了により第三回定例会で議会の同意を得て、任命されました。任期は四年。



中山 節子さん
(51歳)
青葉町2番地2

法務大臣表彰

親身になって

相談相手を十八年

星 喬さん

(七十二歳)

(新生町在住)



昭和五十年十月から十八年間人権擁護委員を務め、現在も室蘭人権擁護委員協議会副会長として活躍中です。人権擁護委員に寄せられる相談内容は、夫婦・親子間の家庭内問題や不動産の売買、賃貸借、雇用、解雇、給料など範囲は広く難解なものも多い。さまざまな相談を受け、解消してきた星さんは、「自分一人がもたらした功労ではありません。関係者や相談者の皆さんに随分勉強させられ、励ましてもらいました」と感謝し、「相談者の悩みを解消できたり喜んでくれる瞬間が最もうれしく、委員みょう利につきます」と話してくれました。

文化祭日程変更

10月15日号でお知らせした登別・白石市小学生絵画展は、11月6日(土)午前9時から11月7日(日)午後5時までに変更となりました。